

附

### 道路改良會第一回定時會員總會記事

大正九年十一月二十九日東京市丸の内銀行集會所に於て、本會第一回定時總會を開く、集る者顧問澁澤子爵石黒副會長を始め會員四十八名に達す、石黒副會長開會の辭を述べ、議第一號本會規則一部改正の件(別項參照)を附議したるに、萬場一致を以て可決し、次で堀田常務理事は、第一回事務の經過を報告する所あり、(別項參照)本會の計畫が、克く世論を喚起し、着々其の効果を擧げ、以て國家に貢獻するの多大なりしに對し、會員一同満足の意を表して已まず、次で山田會計主任理事より、會計事務に關し、報告する所あり、何れも満場の承認を經午後四時閉會せり、當日の附議事項左の如し。

議第一號

## 規則改正ノ件

本會規則中左ノ通改正セムトス

第十二條ノ二 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第十三條中「秋季」トアルヲ「春季」ト改ム

報第一號

## 第一回事務報告書

大正八年三月本會ノ成立ヲ告ケテヨリ茲ニ一年七ヶ月此ノ間所定ノ計畫ニ從ヒ實行シタル事業尠シトセス今其ノ主要ナルモノニ付經過ノ概要ヲ擧クレハ左ノ如シ

### 一、東京市路面改良計畫ニ關スル件

東京市路面改良ニ關シテハ本會夙ニ具體的ノ成案ヲ得之カ實行ヲ當局ニ建議シタル

ニ當時政府ハ財政上ノ見地ヨリ補助ヲ後年ニ讓ラムトシ東京府亦之カ補助ヲ躊躇セ  
ルヨリ計畫爲ニ一頓挫ヲ來サントセリ本會ハ仍テ其ノ急務ヲ廣ク天下ニ宣言シ銳意  
世論ノ喚起ニ努ムルト共ニ再三當路者ニ對シテ事業遂行ノ方策ヲ建議シ一面屢政府  
ニ陳情シテ國庫補助政策ノ實行ヲ迫ル所アリ本會ノ建議ト陳情トハ漸ク政府ヲ動カ  
シ斯クテ第四十二帝國議會ニ道路公債法案ノ提出ヲ見タルモ不幸ニシテ議會解散ノ  
爲確定ヲ得ス路面改良事業モ亦爲ニ其ノ氣勢ヲ殺カルルニ至レリ本會ハ爾來之カ善  
後策ヲ講究スル爲理事會ヲ開キ討議ヲ重ヌルコト十數回或ハ政府ニ或ハ府市會關係  
者ニ交渉シ以テ事業ノ部分的遂行ヲ企畫スル所アリ畏クモ 天皇陛下民人ノ休戚ヲ  
軫念アラセラレ道路補助費トシテ特ニ内帑ノ資ヲ東京市ニ下シ給ハル天德洪大洵ニ  
恐懼感激ノ至ニ勝ヘス本會ハ直ニ御禮書ヲ捧呈シテ具ニ本事業ノ顛末ヲ天聽ニ達セ  
リ

本年七月特別議會ノ開カルルヤ幸ニ道路公債法案ハ其ノ協賛スル所トナリ政府亦東

京市道路評議會ヲ制定シテ茲ニ漸ク機關ノ完備ヲ告クルニ至リ本會ノ計畫シタル成案ニ從ヒ事業ノ實現方ニ近キニ在ラムトス回顧スレハ客歲八月本會評議員會ノ議決ヲ經テ建議シタル東京市ノ重大事業モ幾多ノ迂餘曲折ヲ經一年有餘ヲ費シテ茲ニ其ノ目的ヲ達成スルニ至レルハ會員各位ト共ニ欣快トスル所ナリ

### 一、東京神戸間國道改良計畫調査ノ件

帝國交通系統ノ一大幹線タル東京神戸間國道カ現時ノ交通情勢ニ應セス之カ改良ノ殊ニ急務ナルヲ認メ客歲十一月全線一齊ニ交通情勢ノ調査ヲ開始シ本會幹部カ自動車ニ依リテ道路ノ現状ヲ視察スルト共ニ道路改善ノ急務ヲ宣傳シタルコトハ既ニ會員各位ニ報告スル所ノ如シ當時本會ノ事業カ各地ニ於テ多大ノ歡迎ヲ受ケ到ル處道路改良ノ機運ヲ促進シ多大ノ效果アリシハ各新聞紙ノ報道ニ徴シ明カナリ爾後各地ニ於ケル計畫ノ狀況ヲ見ルニ沿道各府縣ハ既ニ國道改良計畫ノ大綱ヲ定メ彼ノ箱根嶮峻ノ改良ノ如キ相摸、富士、大井、天龍、濱名等ノ河湖ニ於ケル架橋ノ如キ其ノ

起工ノ運ニ至ルモ遠キニ非サルヘク鈴鹿峠ノ改修亦近キニアルヘシ唯各府縣ニ於テハ本會調査意見ノ發表ヲ俟チテ具體的計畫ヲ樹立セムトスルモノノ如ク本會ノ責務一層重キヲ加フルニ拘ラス其ノ調査内容ハ設計ノ大要及之カ費用并ニ其ノ財源ニ及フヲ以テ調査ニ多數ノ日子ヲ要シ本期間ニ於テ未タ發表ノ機運ニ至ラサリシハ誠ニ遺憾トスル所ナリト雖目下著々調査ノ進捗ヲ圖リツツアルヲ以テ之カ成案ヲ得ル蓋シ遠キニ非サルヘシト信ス

### 一、技術者海外派遣ニ關スル件

道路特ニ路面ノ築造ハ優秀ナル技術ニ依ルニ非スンハ假令鉅萬ノ財ヲ糜スルモ完全ニ其ノ効ヲ收メ得ヘキニ非ス是レ歐米諸國ノ夙ニ其ノ力ヲ路面構造ノ研鑽ニ致セル所以ニシテ其ノ効果ノ大ニ觀ルヘキモノアル決シテ偶然ニアラス乃チ今方ニ道路改良ノ實行期ニ入ラムトスル我國ニ於テハ彼カ技術ノ長短ヲ調査視察シテ其ノ精華ヲ採リ我國ノ實情ニ適シタル構造ヲ按出スルノ必要ヲ認ムルヲ以テ既ニ道路改良ノ計

畫ニ著手シ若クハ著手セムトスル東京外九府縣知事及東京外五大市長ニ技術者ノ歐米視察ヲ建議スル所アリタリ本會ノ建議ハ幸ニ神奈川縣及大阪市ノ採用スル所トナリ既ニ關係者數名ヲ歐米各國ニ出張セシメタルノミナラス其ノ他各地方ニ於テモ亦同一ノ計畫ヲ爲スモノアリト聞ク此ノ如キハ畢竟時運ノ要求ニ是レ由ルト雖本會ノ建議カ其ノ遂行ヲ促進スルニ與リテ力アリシハ疑フヘカラサル所ナリ

### 一、道路工學ノ振興ニ關スル件

道路ヲ利用スル新式交通要具ノ發達ニ伴ヒ道路ニ關スル技術ノ進歩ヲ要求スル殊ニ切ナルモノアルニ拘ラス我國土木工學界ノ情勢ヲ窺フニ最高學府タル帝國大學ニ於テスラ道路工學ハ僅ニ一般土木工學ノ一講座ニ分屬セルニ過キス其ノ他ノ各種専門學校ニ在リテハ殆ト形式的科程タルニ止マリテ他ノ工學ニ比シ甚シク輕視セラルルノ嫌ナキニ非ス從テ其ノ研究幼稚ノ域ヲ脱セテ優秀ナル専門技術者ノ養成得テ望ムヘカラサルモノアリ依テ本會ハ文部大臣及東京、京都、九州帝國大學總長其ノ他各

種官、公、私立専門學校長ニ對シテ獨立講座ノ設定臨時講演開設等ノ方法ニ依リ道路工學促進ノ義ヲ建議スル所アリシカ帝國大學ニ於テハ近ク學制ヲ改正シテ建議ノ趣旨ヲ容ルルノ内議アリト聞ク尙本會ニ對シ講師周旋ノ依頼ヲ爲シ來レルモノ數校ニ止マラサルカ如キ亦以テ本會ノ建議カ道路革新ノ時論ニ順應シ當路者ニ刺激ヲ與ヘラレタルモノ少カラサルヲ察スルニ足ル

### 一、道路材料中央試驗所設置ニ關スル件

道路事業ハ其ノ性質上鉅額ノ費用ヲ要シ國民經濟ニ影響スル所甚々大ナルモノアリ是レ低廉ニシテ善良ナル構造ヲ以テ交通情勢ニ適應スヘキ道路ヲ築造スルノ極メテ切要ナル所以ナリトス然ルニ我國ニ於テ未タ之ニ關スル標準的指針ノ存セサルハ路政執行上洵ニ寒心ニ堪ヘス依テ中央試驗所ヲ設置シテ全國ニ於ケル當該材料ノ品質ニ就キ豫メ標準的試驗ヲ行ヒ以テ其ノ成績ヲ公表シ局ニ當ル者ヲシテ其ノ適從スル所ヲ知ラシムルノ必要アリト認メ内閣總理大臣及內務、大藏兩大臣ニ對シ試驗所設

置ノ建議ヲ爲ス所アリ仄聞スル所ニ依レハ政府ハ本建議ノ趣旨ヲ容レ大正十年度豫算ニ之ヲ費用ヲ計上スルノ内議アリト念フニ本建議ノ實現セラルル亦遠キニアラサルヘシ

以上ハ本期間ニ於ケル事業ノ概要ニシテ其ノ豫定ノ進行ヲ觀效果著々實現スルニ至リタルハ一ニ會員各位後援ノ然ラシムル所ニシテ國家ノ爲寔ニ慶賀ニ堪ヘサル所ナリ殊ニ東京市ニ於ケル路面改良計畫カ其ノ施工方法ハ勿論財政計畫ニ至ルマテ悉ク本會建議ニ準據シテ立案セラレ今ヤ其ノ實行ノ期ニ入りタルハ本會ノ満足スル所ニシテ各位ト共ニ欣快ニ堪ヘス若シ夫レ東京、神戸間國道改良計畫ヲ公表スルニ至ラハ必スヤ社會ハ本會ノ事業カ國家ニ貢獻スルノ多大ナルモノアルヲ歡迎スルニ至ルヘク更ニ進ンテ豫定事業ノ進捗ヲ期セムトス

第壹回 (自大正八年三月一日至大正九年九月三十日) 會計報告書

收 入

一金五萬六千九百九拾八圓五拾五錢

內 譯

一時拂寄附 金參萬九千七百五拾圓

分割拂寄附 金壹萬五千六百拾圓

預 金 利 子 金八百參拾八圓五拾五錢

支 出

一金壹萬六千參拾貳圓八拾參錢

內 譯

事務所費 金參千八百參拾貳圓參錢

事業費 金七千六百六拾四圓五拾壹錢

事業費假拂 金千五百四拾七圓五拾錢

道路改良鼓吹費 金千四百七拾壹圓九拾參錢

會議費 金千七拾壹圓九拾六錢

事務室設備費 金四百四拾四圓九拾錢

差引殘金

一金四萬百六拾五圓七拾貳錢

丙 譯

銀行預金 金四萬百五拾貳圓八拾壹錢

現金 金拾貳圓九拾壹錢